

2021 年 7 月 26 日
藤森工業株式会社

(訂正)「独自開発の細胞培養技術活用による iPS 細胞の超大量増殖培養に成功」
の一部訂正について

2021 年 7 月 26 日に公表いたしました「独自開発の細胞培養技術活用による iPS 細胞の超大量増殖培養に成功」の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

I. 訂正の内容

訂正箇所には下線を付しております。

(訂正前)

本研究は、日本医療研究開発機構 (AMED) 再生医療・遺伝子治療の産業化に向けた基盤技術開発事業/再生医療産業化促進基盤整備「細胞製造性に基づくスケールアップ技術の研究開発と製造技能・技術の伝播を目指した人材育成システムの開発」での研究成果であり、再生医療の産業化のために必要なヒト iPS 細胞の大量製造プロセスの構築に繋がるものです。

なお、2021 年 7 月 27 日から開催される第 34 回日本動物細胞工学会 2021 年度大会において「ヒト細胞の大量製造のための浮遊懸濁培養法の確立」として発表する予定です。

藤森工業では、長年培ってきたプラスチックフィルム加工技術を活かし、バイオ医薬品製造や新型コロナウイルス用ワクチン製造に欠かせないシングルユース製品「バイファス®」の開発及び製造販売事業を展開しております。この技術とノウハウを再生医療・遺伝子治療分野で活用／展開させるべく、独自の革新的な培養装置の開発を行い、ヒト iPS 細胞や間葉系幹細胞といった各種細胞の大量培養プロセス開発を、複数の大学研究施設や再生医療ベンチャー企業と共に推進してまいりました。今回の研究開発成果は、再生医療・遺伝子治療の産業化に必要な不可欠な物であり、今後の一般普及に貢献しうる技術であると考え、更なる研究開発と事業化推進を進めてまいります。

(訂正後)

本研究は、日本医療研究開発機構 (AMED) 再生医療・遺伝子治療技術の産業化に向けた基盤技術開発事業/再生医療産業化促進基盤整備「細胞製造性に基づくスケールアップ技術の研

究開発と製造技能・技術の伝播を目指した人材育成システムの開発」での研究成果であり、再生医療の産業化のために必要なヒト iPS 細胞の大量製造プロセスの構築に繋がるものです。

なお、2021 年 7 月 27 日から開催される第 34 回日本動物細胞工学会 2021 年度大会において「ヒト細胞の大量製造のための浮遊懸濁培養法の確立」として発表する予定です。

藤森工業では、長年培ってきたプラスチックフィルム加工技術を活かし、バイオ医薬品製造や新型コロナウイルス用ワクチン製造に欠かせないシングルユース製品「バイファス®」の開発及び製造販売事業を展開しております。この技術とノウハウを再生医療・遺伝子治療分野で活用／展開させるべく、独自の革新的な培養装置の開発を行い、ヒト iPS 細胞や間葉系幹細胞といった各種細胞の大量培養プロセス開発を、複数の大学研究施設や再生医療ベンチャー企業と共に推進してまいりました。今回の研究開発成果は、再生医療・遺伝子治療技術の産業化に必要な不可欠な物であり、今後の一般普及に貢献しうる技術であると考え、更なる研究開発と事業化推進を進めてまいります。

Ⅱ. 訂正の理由

「独自開発の細胞培養技術活用による iPS 細胞の超大量増殖培養に成功」の記載の一部に誤りがあったため、当該箇所の訂正を行うものであります。

以上